



看護 とちぎ

ーナースセンターニュース合同号ー



CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 理事あいさつ 新年の抱負
- 4 平成27年度理事会の動き
- 5 県へ要望書を提出しました
全国健康保険協会栃木支部と覚書を締結
- 6 平成27年度地区支部活動報告
- 8 第19回栃木看護学会学術集会報告
実習指導者講習会事業報告
- 9 看護職確保定着(WLB)推進委員会活動報告
平成27年度新人看護職員応援研修委員会活動報告
- 10 研修受講者の感想
- 12 あなたの再就業を応援します！
栃木県ナースセンター事業紹介
- 14 平成27年度「看バック!再就業応援プログラム事業」
平成27年度「看護職員再就業支援研修」
- 16 訪問看護師養成講習会を受講して
平成27年度「看護職員イメージアップ対策PR事業」
- 17 こんな活動しています シリーズ10
- 18 私の職場の好きなところ シリーズ45
- 19 一般の方へのコーナー おいしい!簡単!クッキング
～ヘルパーさん向けやわらか食レシピ集～
- 20 味自慢・わたしのon-off・お知らせ・編集後記

※黒字は看護協会のページ、青字は栃木県ナースセンターのページです。

会員数 10,936人 (H27.12.15現在)

保健師	523人 (17人)
助産師	311人
看護師	9,277人 (739人)
准看護師	825人 (68人)

男子は()で再掲



新年あいさつ



公益社団法人栃木県看護協会

会長 河野 順子

栃木県看護協会会員の皆様 新年あけましておめでとうございます。
日頃より、当協会にはご協力、ご支援を頂き感謝申し上げます。

お蔭さまで栃木県看護協会会員は10,936名になりました。県内の多くの看護職の皆様は協会の研修機会をご利用いただき、さらにその企画や運営に参加して頂いております。

昨年を振り返りますと、3月に県の医師会・歯科医師会・薬剤師会の3師会に当協会を加えて頂き4師会の協定が締結されたところです。12月には4師会の懇談会があり医療者共通の課題を提言検討いたしました。話題には9月9日の県西・県南に被害のあった災害についてそれぞれの課題が挙がりました。

近年「地域包括ケアシステム」が促進され、4師会がいかに意義あるものかを痛感した次第です。

当協会の大きな事業としては、現在あしかが訪問看護ステーションにナーシングホーム（有料老人ホームとして届け）を併設する準備を進めていることです。8床で①急性期病院から医療的ケア（インシュリン自己注射・ストーマ等）を必要としている患者の支援②終末期の支援及び看取り③在宅療養からのレスパイトを考えています。今春、皆様に竣工のお知らせができるとういと考えています。

さて、日本看護協会では、昨年10月1日より看護師の離職届け出制度が始まったこと、同日に看護師の特定行為に係る研修がはじめられたことです。研修機関が自治医科大学看護師特定行為センターで行われることは、利便性としてとてもありがたいことです。

今年、会員である私どもの課題は、会費納入形式が変更されることです。収納代行会社に施設ごとの専用口座が設けられ、該当の口座に直接振り込む流れになります。

これから、皆様には看護管理者を通して数回ご説明する予定でおります。ITでの情報管理も兼ね備えるということでは、次代のシステムになるということですが、従来の方式もそのまま残されますので、会員数が増していくのに問題はありませ

ん。
また、今夏は18歳以上が選挙権を有する初の参議院議員選挙です。看護者の願いは看護者を国会に送ることです。労働問題、賃金問題、質の問題など多く抱えている看護界です。

ぜひとも、選挙権を有効に使いましょう。

今年もどうぞよろしくお祈りします。





理事あいさつ

新年の抱負



副会長 朝野春美

今年も、会員の皆さまと力を合わせて、公益社団法人としての役割を果たしてゆきたいと思います。

副会長 塚本由紀子

本年の干支は申ですね。日光東照宮の三猿の教えを守り、来る第30回看護大会の成功に向けベストを尽くします。

専務理事 菊池園江

看護職が連携し、地域住民の健康づくりや在宅療養の支援ができるよう、組織的な活動の推進に努めます。

看護師職能理事 齋藤由利子

高齢化に一步步近づきつつある私ですが、目指すべき姿に向かい、まだまだ成長への努力を続けていきます。

理事 糟谷真知子

「麗老一麗しく老いる」をめざし、感動と青春を忘れずに進みたい。

理事 高橋美知子

地域の保健・医療・福祉に係わる方々との連携をさらに深めていきたいと思っています。

理事 坂上和江

一陽来復、心を新たにして一事一事を丁寧に着実に、悔いなく成せる一年にしたいと思います。

常任理事 馬込公子

看護協会はここ数年、さらに事業が拡大してきました。初心を忘れず真摯な姿勢で臨みます。

理事 小澤伸子

会員皆様の健康増進を願い、労働環境の改善に向けて一歩ずつ前進したいと思います。

理事 山口久美子

丙申はこれまでの頑張りが形になっていく年、石の上にも3年目。地に脚をつけてやっつけなければと思います。

理事 仁戸部富恵

1人でも多くの看護職の方が、看護協会の活動に興味を持ち、会員として参加して頂くよう努めたいと思います。

監事 渡邊カヨ子

「年の功」と「看護に対する熱い思い」を武器に、2016年も前進したいと思います。よろしくお願い致します。

保健師職能理事 深津静枝

皆さまからの協力を形に変えて、笑顔と粘りで保健師の底力を見せたいと思います。よろしくをお願いします。

理事 村上充子

医療情勢が変化していく今、初心に戻り看護師の役割を見つめなおしていきたいと思っています。

理事 河原美智子

地域住民が安心して暮らせるために、看護職者の連携がより強化できる様努めます。

理事 細野克子

年女として「赤く」燃え、曖昧さ回避の「申」のパワーを頂きながら医療安全推進のために尽力いたします。

監事 荒木 剛

また一つ歳を重ねますが、内向きにならずに新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。

助産師職能理事 寒河江かよ子

新年おめでとうございます。助産師の実践能力強化に向けて、推進できるよう頑張ります。

理事 関根照代

一念通天。困難な問題があっても、心を込めて努力することで、一つひとつ解決していきたいと思っています。

理事 谷田貝理恵

常に攻めの姿勢でチームワークを大切にして積極的に仕事に取り組んでいきます。

理事 桜井美恵子

今年こそ運動しよう。まずは歩くことから始めてみる。歩くことが楽しみとなるよう、あせらず、あわてず。





平成27年度 理事会の動き

専務理事 菊池 園江

第1回理事会 平成27年5月18日(月)

I. 協議事項

1. 平成27年度通常総会について
2. 平成26年度定例監査報告について

II. 報告事項

1. 会員数の報告
2. 日本看護協会理事会報告
3. 業務執行理事報告
 - ・とちぎ訪問看護ステーション「たかねざわ」と「いちかい」の統合における「いちかい支所」の開設について
4. 委員会および地区支部報告

第2回理事会 平成27年6月20日(土)

I. 協議事項

1. 役員の選定について
2. 副会長の順序について
3. 委員会の委員について

II. 報告事項

1. 業務執行理事報告
 - ・とちぎ訪問看護ステーションくろばねの事業所に隣接する土地及び家屋の寄附申し出について

第3回理事会 平成27年8月10日(月)

I. 協議事項

1. 平成27年度事業報告（6月末）について
 - (1) 健康普及啓発・人材育成事業
 - (2) 訪問看護・居宅介護支援事業
 - (3) 資金収支予算実績比較表
2. 平成27年度補正予算について

II. 報告事項

1. 業務執行理事報告
 - ・台風18号等による大雨に係る対応状況について
 - ・とちぎ訪問看護ステーションあしかがに併設するナーシングホーム（仮称）の設置について

第4回理事会 平成27年10月1日(木)

I. 協議事項

1. 平成28年度事業執行方針について
 - (1) 平成28年度重点事業（案）
 - (2) 予算編成
2. 平成28年度栃木県看護協会総会の日程について
3. 平成27年度補正予算について
4. 県への要望事項について

II. 報告事項

1. 業務執行理事報告
 - ・栃木県医師会役員と栃木県看護協会役員の懇談会について

第5回理事会 平成27年12月7日(月)

I. 協議事項

1. 平成27年度事業報告（9月末）について
2. 規程等の制定について
 - (1) 公益社団法人栃木県看護協会個人情報保護規程（案）の制定について
 - (2) 栃木県看護大会大会長表彰規程（案）の一部改正について
 - (3) 栃木県看護大会感謝状表彰規程（案）の一部改正について
 - (4) ナーシングホームあしかが整備委員会の設置要綱（案）について
3. 日本看護協会名誉会員候補者の推薦について

II. 報告事項

1. 業務執行理事報告
 - ・とちぎ訪問看護ステーションあしかがの移転について
 - ・四師会協議会及び四師会懇談会について
 - ・日本看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練について

県へ要望書を提出しました

昨年10月30日に栃木県知事宛ての要望書を河野会長より近藤真寿保健福祉部長に手渡し、要望内容についての説明を行いました。

平成26年6月「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の成立により、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築を旨とした諸制度が創設されました。

本会は、平成27年度に引き続き質の高い看護職の育成と在宅療養者とその家族を支援する訪問看護の充実を中心に据え、種々の事業に取り組んでいくこととしております。また、スタートした看護職員確保対策のための「看護職の離職時等の届出制度」が軌道にのるよう取り組んで参ります。

少子・超高齢・多死社会の到来を控えた社会からの要請に応えるため、これまでも増して看護職の質向上や看護サービスの体制整備、就業支援を要望いたしました。



要望事項

1. 質の高い看護人材を育成する教育・研修に関する事業
 - (1) 新人看護職員の研修充実
 - (2) 認定看護管理者・専門看護師・認定看護師・災害支援ナースの教育研修
 - (3) 看護管理者の教育充実
 - (4) 福祉施設で働く看護職の研修充実
 - (5) 特定行為研修の受講者とその施設への財政支援
 - (6) 准看護師の進学支援の推進
2. 看護職が働き続けられる職場の環境づくりに関する事業
 - (1) ワークライフバランス推進サポート事業
 - (2) 看護職の離職時等の届出制度の運用
 - (3) 職業安定所との連携事業
 - (4) 看護の心普及事業
 - (5) 看護職員再就業支援研修・看バック！再就業応援プログラム事業
3. 在宅等における医療の提供に関する事業
 - (1) 訪問看護に関する診療報酬のプラス改定
 - (2) 早期退院を支援することに対する評価

全国健康保険協会栃木支部と覚書を締結

昨年10月20日に全国健康保険協会栃木支部と覚書取り交わし式が行われました。

本協会と全国健康保険協会栃木支部は「健康長寿とちぎづくり推進条例」の目的である「健康長寿とちぎづくりの推進」を図るため、相互に連携及び協力し全国健康保険協会の加入者ひいては県民の健康増進及び健康寿命の延伸を実現することを目的とし覚書を締結いたしました。

(連携・協力事項)

- 1、訪問看護（介護保険・医療保険）の知識の普及に関すること
- 2、在宅介護の知識の普及に関すること
- 3、健康相談事業に関すること
- 4、看護職の人材育成に関すること
- 5、県民の健康づくりの推進に関すること
- 6、その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること



平成27年度 地区支部活動報告

宇都宮地区支部活動報告

宇都宮地区支部の活動について

宇都宮地区支部長 永山 真弓



宇都宮地区支部の役割として、看護に関する研修の企画・開催と、地域住民の健康に関する連携業務の一環としてまちの保健室という健康相談を活動の主体としています。

今年度は「診療報酬と看護管理の関連」「スキンケア研修」「認知症看護」、宇都宮市との共催で「あなたの知らないいびきの世界」の研修を開催、平成28年2月に「口腔ケア」の研修も開催します。会員の皆様へ良い学習機会となるよう研修を企画しています。ご参加、お待ちしております。

県西地区支部活動報告

平成27年度県西地区支部活動報告

県西地区支部長 境野 博子



県西地区支部は、鹿沼・日光地区に就労する会員715名で構成されています。担当理事1名、役員10名で各種研修会を開催し、地区の会員の方の協力を得て、まちの保健室活動を実施しています。



スキンケア研修、認知症看護研修は、看護師だけでなく介護職員の参加がありました。演習や動画を見ることでわかりやすく、研修で学んだことを職場で活かしていけるという意見が多くありました。

まちの保健室は、鹿沼地区・日光地区のイベントに参加しました。117名の利用者に対し血圧測定を行い、その後、健康相談を実施しました。県西地区は高血圧の方が多い地区なので、まちの保健室では、血圧コントロールの必要性、食事指導などに力を入れて行きたいと思えます。

県西地区支部では、地域の特性に沿った活動をしていきたいと考えておりますので、今後とも会員の皆様のご協力をお願い致します。

県東地区支部活動報告

県東地区の医療連携を目指して

県東地区支部長 戸崎 敦代



平成27年度は、スキンケア・認知症看護・在宅医療・医師会などとの共催研修を行い、今後リフレッシュのための笑いヨガ研修を予定しています。また、管内の町民祭に参加し、まちの保健室を実施しました。常に県東地区の看護職員や住民に声をかけ、研修会を開催してきました。今後は、地域包括ケアに向けて県東地区における看護職の連携を強化し、他職種の協力を得て、地域のために活動していきたいと考えています。また、看護協会会員の拡大を図っていききたいと思います。



栃木地区支部活動報告

平成 27 年度 栃木地区支部活動報告

栃木地区支部長 高岩 和枝



栃木地区支部は 32 施設 1,655 名の会員で構成され、地域住民への健康普及活動及び会員・非会員への研修会等を企画・運営しています。今年度の研修会は、「フィジカルアセスメント」「禁煙サポート」を行いました。支部を越えての参加もあり関心の高さに遣り甲斐を感じています。今後は「認知症看護」「スキンケア」を予定しています。また、「リフレッシュ研修」では、群馬県富岡製糸場で世界遺産を学ぶとともに



会員間の親睦を深めることができました。健康普及活動は、大学祭で「まちの保健室」を出展し、地域の方々の健康支援に関わることができました。今後も役員間の連携を大切にしながら地域に密着した活動を目指すとともに、会員・非会員の方々に興味をもって参加していただけるような研修会を企画したいと考えています。

小山地区支部活動報告

平成 27 年度小山地区支部活動報告

小山地区支部長 菅篠 史枝



小山地区支部活動の柱は、各種研修会の開催とまちの保健室への参加です。

超高齢化が進むなか、団塊の世代が 75 歳を超える『2025 年問題』を見据え、医療・看護・介護のあり方も変革の時期にきています。そのような中、小山地区支部の活動目標である①研修の充実②看護協会への加入促進活動の実施③保健活動の強化ができるように各施設の役員が連携して活発な地区支部活動を展開しています。

平成 27 年度は、DESIGN-R に則した褥瘡の局所治療・認知症外来・退院支援学習会・認知症看護・スキンケア・在宅医療関係者研修会についてなど、様々な分野の研修を企画し好評を得ています。看護協会の企画している研修には、希望者が多く、参加できないこともあるようですが、地区支部では多くの看護職や介護職の方々にも興味を持って参加してもらえるような研修会を企画し、会員同士の交流や会員増加にも貢献したいと考えています。また、「まちの保健室」の活動については、毎年地域健康都市おやまフェスティバルと上三川町健康福祉まつりに参加し、住民の健康支援を行っています。

8 月 30 日には、「平成 27 年度栃木県・小山市総合防災訓練」に参加し、災害に強いとちぎづくりに貢献できました。今後とも、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

県北地区支部活動報告

地域全体のスキルアップを目指して

県北地区支部長 相馬 幸子



県北地区支部は、54 施設と個人会員を合わせて 1848 名の会員で構成されています。研修会は、医療者向けにスキンケア実践編・認知症看護・感染管理・職場のメンタルヘルスケアを開催しました。市民講座「転倒予防」は、理学療法士を講師に 30 名の一般市民が受講、地域のニーズを感じました。今後は、各施設での研修と協働し共催研修を 2 回予定しています。まちの保健室は、高校文化祭と地域のイベント 4 か所で開催しています。交流事業では毎年好評の那須の温泉とバイキングランチでリフレッシュいたしました。



非会員や一般市民の研修受講も工夫し、地域の健康の維持増進をめざし、地域のニーズに合った活動をしていきたいと思ひます。

安足地区支部活動報告

地域に根差した活動を目指して

安足地区支部長 山田 哲子



今年度の研修は「エボラ出血熱」「スキンケア(実践編)」12 月には一般住民に呼びかけ「在宅医療フォーラム」を開催しました。2 月には「認知症看護」を予定しています。また、まちの保健室は、奇数日の第 4 土曜日に佐野イオンショッピングモールで健康相談を実施し、11 月には地域のイベント「佐野健康祭り」に参加しております。今後も協会員および地域住民に役立つ研修会を企画し活動していきたいと思ひます。



今年度の研修は「エボラ出血熱」「スキンケア(実践編)」12 月には一般住民に呼びかけ「在宅医療フォーラム」を開催しました。2 月には「認知症看護」を予定しています。また、まちの保健室は、奇数日の第 4 土曜日に佐野イオンショッピングモールで健康相談を実施し、11 月には地域のイベント「佐野健康祭り」に参加しております。今後も協会員および地域住民に役立つ研修会を企画し活動していきたいと思ひます。



第19回栃木看護学会学術集会報告 栃木看護学会学術集会を終えて

栃木看護学会企画委員長 石川 敦子



平成 27 年 11 月 5 日、第 19 回栃木看護学会学術集会が開催されました。参加人数は 785 人、演題数は口演 18 題、示説 10 題でした。「学生も現場も生き生きと一後輩育成の視点から臨地実習を考える」をメインテーマに、山口久美子集会長から講演をいただき、臨地実習は現場の看護職と看護学生が共に学び合う貴重な場であることが認識できました。シンポジウムでは、「学び合い教え合い共に育つ臨地実習」をテーマに 4 人のシンポジストの発表がありました。今回はより多くの皆様に参加していただけるよう、会場を栃木県総合文化センターに変更して、日程を 1 日に集約しました。また、ランチョンセミナーを 2 題取り入れてプログラムの充実を図りました。初めての試みのため様々な反省点もありましたが、次年度の企画に活かして、さらに充実した学術集会になるよう努力したいと思います。

学術集会開催にあたり、ご支援ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



実習指導者講習会事業報告

実習指導者講習会委員長 豊田 豊子



実習指導者講習会は、県と看護協会が委託契約を締結し、看護協会が主体となって実施している事業です。今年度は 40 名の参加がありました。平成 27 年 7 月 27 日～9 月 18 日までの 38 日間にわたり、大学教授等により、教育原理や心理・教育方法などをはじめ、実習指導の原理や評価・実際等をご教授頂きました。その後、受講生はグループワークにより得た知識を、具体的に実践できるよう仲間同士で協力し合い、各々が持ち寄った課題を明確にし、集大成として指導案を作成し発表しました。先輩受講生との交流会では、情報交換ができ現場での取り組みを知り、充実した時間となったようです。

今後も、学生を快く受け入れ指導ができるよう、楽しく、実のある講習会を企画していきたいと思ひます。講習会開催にあたり、ご協力頂きました皆様に深く感謝申し上げます。

看護職確保定着（WLB）推進委員会活動報告 ～変化が起こるWLB～

看護確保定着（WLB）推進委員長 高崎 至子



平成23年度からスタートし、本事業参加病院が21施設になりました。看護部の取り組みから施設全体としての取り組みが常態化し、年々成果の内容も働く環境改善から経営改善への効果も実感されている施設もあります。取り組み3年間はインデックス調査を行い、データの推移から施設の成果を明確に知ることができます。本事業に取り組むことから、働く環境に関心が持て、私たちの考えと行動で変化を起こすことができます。それらを実感できる事業は、やらされ意識からやれる意識へと変わり、仕事への達成感と満足感をあわせて得ることができる事業であると考えます。自分たちの手で、自分たちにできることからという心持で、構えることなく、まずは一步を踏み出してみませんか。取り組みをして変化が起きない施設はありません。WLBの相談事業もスタートし取り組みの成果が働く人としての各人に良い影響がもたらされることを願い、本事業の推進をより多く進めたいと思います。

平成28年度「ワーク・ライフ・バランス事業」に参加される施設募集中!!

お気軽に栃木県看護協会まで、お問い合わせください。



平成27年度新人看護職員応援研修委員会活動報告

新人看護職員応援研修委員長 松本 洋子



新人看護職員応援研修委員会は、『多施設合同研修』『実地指導者研修』『教育担当者研修会』『研修責任者研修』の4つのコースに分かれており、全体で約340名の参加のもと開催しました。

多施設合同研修は、7月に「多施設との交流を通して仲間を作ろう」と題し、宿泊研修会を実施しました。「施設を超えた総合交流を図ることで、悩みを共有でき、リフレッシュできた。」「皆が同じ気持ちで頑張っていることがわかり、自分自身の励みとなった。」などの感想が聞かれ、宿泊研修の目的は達成できたと感じています。

実地指導者は、「新人のメンタルサポートと指導者としてのストレスマネジメント」教育担当者は、「新人をどう育てていくか、～人を育て自分を育てる～」研修責任者は、「施設における人材育成と教育体制」等をテーマに研修会を実施してきました。

新人看護職員応援研修委員会は、新人看護職員の離職が減少し、看護師の定着率を向上させること。そして、必要な指導者の育成に取り組み、今後も目的達成するための有意義な研修会を開催していけるよう努めていきたいと思っています。



研修受講者の感想



看護継続教育研修

看護継続教育研修で学んだこと

那須赤十字病院
佐藤 晴美

開催日／11月12・13日
参加者数／62名

今回の研修で、専門職における継続教育の重要性と成人学習者の特徴を知り、問題解決や自己実現につながる学習計画を立てなければ対象のニーズは満たせないと学びました。

また WLB を保ちながら継続教育を受ける為

の工夫や OJT、スキルラボを組み合わせる等、対象に合わせた様々な教育方法について学びました。今後対象者に参加したいと思ってもらえるような勉強会を企画できるよう努力していきたいと思います。



効果的な看護研究の指導をするために

研修に参加して

自治医科大学附属病院
太田 千鶴

開催日／9月14・15日
参加者数／54名

研究委員として指導する立場になり、知識のない自分がどのように指導したらよいのか悩んでいました。この研修の講義では看護研究の題材のを見つけ方や、クリティークの方法など、実際の研究論文を用いて詳しく指導していただきました。グループワークでは、他施設の方と、

指導上で上手くいったことや悩んでいることについて意見交換ができ、自分がこれから指導する上でどのように行動していけばいいのかを学べました。今回の学びを今後の指導に活かしていきたいと思います。



看護管理と交渉

まずは相手を理解しよう

栃木県立がんセンター
見目 京子

開催日／10月30日
参加者数／90名

交渉に対して苦手意識があり、解決への糸口を見つける目的で受講しました。上手く交渉ができない理由として、自分の意見を通す事ばかり考え、相手がなぜそう思うのかを理解しよう

としていなかったことに気付かされました。交渉はコミュニケーションを通して行うものです。普段から良好な関係を築くことが大切であることを学びました。



医療安全と事故防止

エラーから学ぶ

黒須病院

高橋 有美子

開催日／10月22・23日
参加者数／198名

研修の中で医療事故を「あってはならないこと」から「起こりうること」へと捉え方が変化した動向を2大医療事故から学びました。私の勤務する病棟でも業務の中で大小問わずヒューマンエラーが多々あるのが現状です。各病棟で

毎週安全カンファレンスを行いスタッフ間で共有して対策や評価をしています。これからも危険を予測しながら安全対策をしていくとともに意識を高めていきたいです。



実践に役立つ看護過程

実践に役立つ看護過程を受講して

足利赤十字病院

原田 知世

開催日／11月18日
参加者数／70名

この研修を受け、アセスメントの重要性を再確認することができました。アセスメントをしっかり行うことで最も優先すべき問題点を抽出することができ、患者さんのニーズに応えること

ができるのだと感じました。個別性のある看護を提供していくために、日々の患者さんとの関わりやスタッフとの情報共有を大切にしていきたいと考えています。



医療メディエーションとコンフリクトマネジメント

「医療メディエーションとコンフリクトマネジメント」を受講して

新小山市市民病院

山口 美奈子

開催日／9月7日
参加者数／78名

研修に参加し、医療現場で発生するコンフリクト（行き違いやもめ事）を分析して解決へとつなげるコンフリクトマネジメントの考え方と、対話を通して協調的に解決へと導く医療メディエーションを理解することができました。価値

観が多様化している中、コンフリクトの発生を避けることは難しいことです。しかし、コミュニケーションエラーを防ぎ人間関係の構築に努め、前向きにコンフリクトに対処し、問題を解決していきたいと思っています。

★あなたの再就業を応援します!★

看護師等の届出制度って？

免許を持ちながら看護師等の仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターに届け出ていただく制度です。
 (「看護師等の人材確保の促進に関する法律」による)

届出の方法は？

届出支援システム「とどけるん」に必要事項を入力。
 「必要事項」…氏名・連絡先・生年月日・免許情報等
 「とどけるん」で検索、またはQRコードから。
 (PC版/スマホ版)



<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>
 または下記の「届出票」を、栃木県ナースセンターへ郵送かFAXで送ってください。

どんな人が対象？

制度の対象となるのは、保健師、助産師、看護師、准看護師の免許をお持ちで、現在、これらの仕事に就いていない方です。



●届出るとどうなるの？

ナースセンターから、ご希望に応じた看護情報や研修等の情報提供、就業相談等の支援が受けられます。

届出票				※は記入必須項目		
ふりがな 氏 名 ※		性別※	男 ・ 女	生年月日 (西暦)※	年 月 日	
現住所 ※	(〒 -)					
電話番号 (FAX) ※	(自宅・携帯・FAX)					
メールアドレス ※	(PC・携帯)					
免 許 ※	種別	免許の有無	登録番号	登録年月日		
	保健師	有 ・ 無		昭和・平成	年 月 日	
	助産師	有 ・ 無		昭和・平成	年 月 日	
	看護師	有 ・ 無		昭和・平成	年 月 日	
	准看護師	有 ・ 無		昭和・平成	年 月 日	
就業に関する状況 ※	就業して いない	就業していないが 求職中	就業中 就業予定 (看護師等)	就業中 就業予定 (看護師以外)	学生 ・ (その他)	
以下は任意で お答えください。	職歴		離職年月(西暦)と理由		復職の意向 すぐに・いずれ なし・未定	
	ナースセンターが行う無料職業紹介事業への登録を希望しますか?			希望する ・ 希望しない ・ 説明を聞きたい		

届け出ていただく情報は、届出サイト「とどけるん」に掲載しているナースセンターのプライバシーポリシーに基づいて管理します。

公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター
 〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F



看護師無料職業紹介所（ナースバンク）にもご登録ください

求職者の登録方法

※求人施設の方の登録もお待ちしております。

登録（無料）から面接・採用までの流れ

求
職
者

来所・郵送での登録

求職票に必要事項記入
・資格の**免許番号**
・職歴 等



インターネットからの登録

①栃木県看護協会ホームページ
(<http://www.nurse-center.net/>)
「eナースセンター」ボタンをクリック



※QRコードは、スマートフォンのみ使用可能

②「求職者（看護職）の方のご登録」をクリック
必要事項を入力してIDを取得してください。

[求職者（看護職）の方のご登録](#)

③必須項目以外（プロフィール・求職票）の項目も登録することで自動マッチングが増えたり、求人応募もよりスムーズに行えます！

お
仕
事
検
索

ユーザ情報登録

希望条件を登録

自動マッチング

希望条件にあった
求人情報を紹介

直接
応募

ナース
センター
経由応募



面接・採用

※ナースセンターに採否の連絡

今年度から「ナースセンター・ハローワーク連携事業」が開始となり、ハローワークに求職登録された方のご希望により、ナースセンターと情報を共有し双方で協力して看護職就業を支援します。

「看護職の相談 こ～な～す！」 出張無料相談コーナー

9月から6箇所の ハローワーク（HW）で開催中

子育てしながらのお仕事、長期休職期間後の復帰の心配、これから看護師の資格を取りたいとお考えの方、復帰のための研修はあるの？仕事しながら研修を受けられるの？職場の悩み等々、何でもお話を伺います。お気軽に開催のハローワークへお越し下さい。

（相談受付時間：13:30～15:15）

開催風景



開催曜日

第2火曜日
小山HW

第4水曜日
栃木HW

第3火曜日
足利HW

相談受付時間
13:30～15:15

第2水曜日
黒磯HW

第3水曜日
（3ヶ月毎）
宇都宮HW

第4火曜日
真岡HW

ハローワーク名	相談日
小山 （第2火曜日）	平成28年1/12・2/9・3/15
足利 （第3火曜日）	平成28年1/19・2/16・3/15
真岡 （第4火曜日）	平成28年1/26・2/23・3/22
黒磯 （第2水曜日）	平成28年1/13・2/10・3/9
栃木 （第4水曜日）	平成28年1/12・2/24・3/23
宇都宮 3ヵ月毎 （第3水曜日）	平成28年3/16

*ご希望の方は各ハローワークへお申し込み下さい。

看護師等無料職業紹介所（ナースバンク）

TEL：028-625-3831 FAX：028-625-8988 E-mail：tochigi@nurse-center.net

平成27年度「看バック！」

出産や育児などで離職した看護職員が医療施設等で働きながら職場研修を受けることで、円滑なカムバックを応援する「看バック！再就業応援プログラム事業」。

今年度は22施設から申請があり、17名の方々が職場復帰されました（12月現在）。



その中の一人、子育てと仕事を両立させ、那須南病院で看護師として活躍する金枝愛美さんのケースをご紹介します。



復帰する勇気が持てました

那須南病院 外来看護師 金枝 愛美



今年度4月から那須南病院外来で勤務しています。3人の出産・育児のため看護職から7年間離れていました。また仕事がしたいという思いがありましたが、復職するに当たり子育てと両立できるか不安でした。病院見学に来た際に『看バック！再就業応援プログラム』を受けられることを知りました。外来では採血や点滴、患者さんとの接し方など教育担当者から指導を受け、入院までの対応や検査介助などできるようになってきました。

現在は半日勤務ですが、買い物や自己学習ができる自分の時間や子供と触れ合う時間もあり、仕事と子育ての両立ができていると感じています。まだまだ未熟で勉強しなければならないことが沢山ありますが、患者さんが笑顔になっていただける看護をしていきたいと思っています。

1日のスケジュール

5:30	6:00	8:00	13:00	15:00	16:00	17:00	19:00	20:00	22:00
起床	洗濯 朝食準備・朝食	保育園へ送り出し 出勤 勤務	帰宅・昼食 自分の時間	自己学習・買い物等	夕食準備・掃除	保育園にお迎え	帰宅・子供と遊ぶ 夕食準備 夕食	子供と遊ぶ・入浴 子供寝かしつけ	就寝

お問い合わせ先 (公社) 栃木県看護協会・栃木県ナースセンター

再就業応援プログラム事業



子育て中のママさん看護師の復職を支援して

那須南病院 外来看護師長 鈴木 敦子



平成24年度より『看バック！再就業応援プログラム』が始まり、当院外来では金枝さんを4人目として受け入れました。今までの3人の指導計画を参考にし、外来業務をチェックリストで評価しながらゆっくと指導しています。「緊張の毎日です。」と言いながらも確認を怠らない慎重派です。外来ではパート勤務を希望する子育て中のママさんが多く、同じ復職支援を受けた看護師を教育担当にあて、業務だけでなくプライベートでも話しやすい環境にしています。

看護協会のホームページ等からこの事業を知り、ブランクはあるけど頑張ってみようかなと持っている方がいるならば、一歩踏み出してはいかがでしょうか。また、受け入れる施設もこの事業を活用し、潜在看護師が復職できるよう応援していきましょう。

平成27年度 看護職員再就業支援研修

看護職の資格所有者で、看護の知識や技術に不安がある未就業の方や再学習を望む就業中の方を対象に、県北・県央・県南の3会場で3コース、年7回開催しています。

今年度は5回まで終了し、延べ149名の方が受講されました。看護の現場で再び活躍していただけるよう、求職サポート中です！

受講者の感想

看護の知識・技術はもちろん、同じように再就業を目指している方と意見交換ができたのでとても良かったです。再就業に向けて前向きに頑張ろうと思います。

最新の看護の勉強ができ、とても刺激になりました。

再就職に対して不安がありましたが、少し自信が付きました。

実際に現場で働いている看護職の方から講義を聞くことができ、臨床における現在の看護に触れることができ、有意義な一日を過ごせました。



☎028-625-6141
http://www.t-kango.or.jp/



訪問看護師養成講習会を受講して



横井 由美子

受講生の殆どが現役の中、今回私は未就業で講習参加をさせて頂きました。3年前に病院勤務を離れ、以前より興味があった訪問看護の道を再就職に考えましたが、長い離職期間と在宅看護の知識不足に不安を感じ講習会の受講を決めました。

訪問看護未経験で未就業の私が修了出来るのかとても不安でした。しかしeラーニングは理解しやすい内容で、自分のペースで何度も重複しながら視聴学習ができ、研修センターでの講義・演習は更なる知識の定着に繋がり、そして実習で訪問看護の実際がわかるという充実した受講内容で心配は無用でした。

また月1回の講義でしたが仲間もでき、不安や悩みを相談したり現場での苦労や難しさ等の話も聞け、私にとって実りある講習会となったと同時に、訪問看護に従事したいという思いが今まで以上に強くなりました。訪問看護は多くの専門知識と応用・判断力が必要とされる現場なので、今後も知識習得に励んでいきたいと思えます。



研修受講後、「看バック!再就業応援プログラム事業」を活用し、訪問看護ステーションに就業されました。

平成27年度「看護職員イメージアップ対策PR事業」

現場で活躍する看護職員が中学校や高等学校等に出向き、看護の魅力や命の大切さ、看護への道等をお伝えする「看護の出前授業」。今年度は県内19校(参加者約2,900名)で行われました。

未来を担う生徒の皆さんの感想をご紹介します。

(実施数:平成27年12月現在)

感想

看護師になりたいという夢ができました。

看護師の仕事は生涯続けられる仕事であり、人の命を預かる重要な仕事だということが分かりました。

助産師になりたいという気持ちが強くなりました。専門的な勉強をして国家資格を取らなければならないので簡単ではないと思いますが、それ以上に命の大切さを伝えられる助産師という職業に魅力を感じました。

多くの人を助けられる看護師になりたいです。

お母さんが命がけて産んでくれた自分の心と体を大切にしようと思いました。同時に他の人も大切にしたいと思いました。



こんな活動しています シリーズ 10

— 「せん妄・認知症ケアチーム」の活動 —

済生会宇都宮病院 認知症看護認定看護師 中村 由喜子



済生会宇都宮病院では、現在褥瘡対策チームをはじめ7つの医療チームが活動を行っています。今年度、せん妄を発症した患者や認知症患者を対象に認知症看護認定看護師を中心とし認知症専門医、精神科医、臨床心理士、作業療法士、薬剤師、ケースワーカーなど多職種による「せん妄・認知症ケアチーム」を新たに発足しました。

せん妄・認知症ケアチームの主な活動は、入院した65歳以上の患者を対象に「入院時せん妄チェックシート」をもとに、せん妄の発症や認知症などのリスクをスクリーニングし、結果をもとに問題を抽出し、チームで情報を共有して週1回の病棟カンファレンスを実施しています。対応困難事例に関しては多職種で構成されたチームの特徴を生かし、本人への対応方法や薬剤の使用法、認知症の診断や治療に関することなど病棟スタッフや主治医と話し合いを行います。

また、活動の一環として認知症を患う高齢者やせん妄を発症した高齢者に対して、認知症看護認定看護師と脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を中心に院内デイケアを10月より開始しました。毎週2回計8回を1クールとして、火曜日と金曜日の14時から16時の2時間、2,3名程度の方に参加していただきレクリエーションや体操を行っています。普段あまり話すことのない方が自発的にほかの方に話しかけたり、ゲームを楽しんだり体を動かしたり新しい一面を見せてくれます。病棟に戻った後も穏やかな表情で看護師や御家族と笑顔で楽しく過ごされている姿を見る機会も増えてきています。

認知症を患う高齢者は、入院を契機に認知機能の低下やせん妄、徘徊などの行動・心理症状が生じ治療の継続が困難となったり元の生活に戻れなくなったりすることがあるため、入院環境や生活サイクルの改善などを中心に今後も活動を継続していきたいと思っております。



私の職場の好きなおとこ

シリーズ **45**

NHO宇都宮病院 看護師長 上武 直美

患者さんの笑顔に支えられて



国立病院機構宇都宮病院は、平成16年4月1日国立療養所東宇都宮病院より移行し、発足いたしました。私の勤務する地域包括ケア病棟は、昨年10月に西2病棟50床で開設され、翌11月に新しく建設された北4病棟へ移り、現在の60床となりました。

地域包括ケア病棟とは、退院を控えた患者さんが、安心して退院の日を迎えられるように、リハビリや退院支援に力を入れている病棟であり、急性期と退院後の生活を結びつける役割を担っています。病棟には、外科系・内科系すべての患者さんが転入してくるため、継続的な看護が提供できるように他部門や各科の医師とコミュニケーションをとっています。

患者さんの平均年齢は79.2歳と高齢者が大半を占めている為、入院生活が安全に過ごせるように細やかにケアしていくこと、ADL（日常生活動作）の維持・向上につながるよう日々援助しています。また、患者さんやご家族の思いに応えられるように、笑顔で安心して在宅療養を送って頂けるような退院調整を心掛けてい

ます。

当院初の試みで、地域包括ケア病棟で、9月に「アニマルセラピー」を開催しました。医療におけるアニマルセラピーは「緩和ケア病棟」や「こども病院」などを中心に実践されており、患者さんがセラピー犬と触れあうことで、心が癒され前向きな気持ちを持ち、回復に向かう動機付けになるなどの生理的・心理的効果が報告されています。犬たちが病室へ……以前だったら考えられないことでしたが院長の大きな決断が患者さんの笑顔に繋がりました。

今後も、患者さんに安心・安全な看護の提供を目指し、勉強会で学びあひながらスキルアップに努め、院内外の多職種の方たちと情報の共有を図り協働し、コミュニケーションを大切に、明るく楽しく元気に地域医療を支えていきたいと思っています。

**募集のお知らせ**

♥「私の職場の好きなおとこ」の原稿を募集しています。

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F 栃木県看護協会 広報委員会宛



一般の方へのコーナー

高齢者に安心!

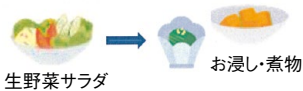
食べやすくする調理のポイント

ちょっと料理をやわらかくするだけで、普通に食べられる人もいれば、そうでない人もいます。何が食べやすいかを聞いたり、観察して、一人ひとりの噛む力・飲み込む力に合わせて調理することが大切です。

ポイント①

加熱する

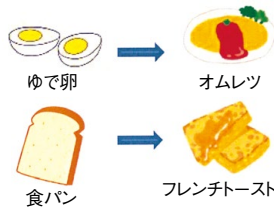
料理がやわらかくなります



ポイント②

パサパサさせない

適度に水分をプラスしましょう



ポイント③

つなぎを入れる

卵、小麦粉などで食べやすくまとめましょう



ポイント④

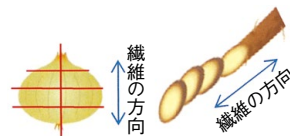
細かく刻まない

口の中でバラバラになり、かえって飲み込みにくくなるので、気を付けましょう

ポイント⑤

繊維を切る

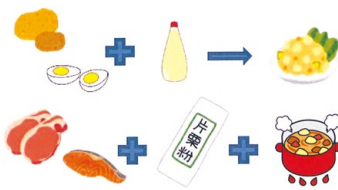
野菜は皮をむき、繊維に対して直角に切りましょう



ポイント⑥

油脂を加える
片栗粉衣をつける

食べ物がなめらかになり、飲み込みやすくなります



ポイント⑦

とろみをつける

食べ物が口や喉をゆっくり通過でき、むせにくくなります

肉や魚は、食べやすい大きさに切り、薄く片栗粉をまぶしてから煮ると表面につるりとした膜ができ、喉ごしがよくなります。

ポイント⑧

一口大にする

口の中にたくさん入れることで、むせの原因になります。食べやすい大きさにしましょう



くわしくは、[関東健康福祉センターのホームページ](#)「おいしい! 簡単! クッキング~ヘルパーさん向けやわらか食レシピ集~」をご覧ください。

食べることに関する高齢者の体の変化

体の機能は、年齢を重ねるとともに低下していきます。食べることにしても同様です。高齢者の体の変化や、それに伴って注意しなくてはならないポイントを知り、変化に合わせた食事を提供することが大切です。

五感 (視力・聴覚・触覚・味覚・嗅覚) の低下

細かいものが見えにくくなります
→骨などはよく取り除きましょう。

濃い味付けを好むようになります
→薄味でもおいしく食べられる工夫をしましょう。

傷んだ食べ物に気付きにくくなります
→食品は冷蔵庫などで保管し、賞味(消費)期限を確認しましょう。

喉の渇きを感じにくくなる

脱水症状を起こしやすくなります。
→時間を決めるなど、喉が渇かなくても、こまめに水分補給するよう促しましょう。

食べる機能の低下

唾液分泌量が低下します
→口をしめらせながら食事ができるよう、汁物やお茶を用意しましょう。

噛む力が低下します
→食べやすい大きさ・硬さになるよう工夫しましょう。

飲み込む力が低下します
→飲み込みやすくなるよう工夫して料理しましょう。ゆっくりよく噛んでから飲み込むように声をかけましょう。

手足の筋力の低下

自分の体を支えられなくなり、食べる姿勢にも影響します
→食べやすい姿勢になっているか確かめてから食事を始めましょう。

消化機能の低下

食べ物の消化に時間がかかるようになります
→消化しやすい食材や、料理方法を選びましょう。

便秘になりやすくなります
→水分や食物繊維を十分に摂り、便通を促しましょう。





味自慢

簡単スコーン



●材料

ホットケーキミックス	200g
バター(無塩)	50g
牛乳	50cc
レーズン	40g

●作り方

- 1 ボールにホットケーキミックス、バターを入れてそばろ状になるまで混ぜる。
- 2 1に牛乳を少しずつ加わえて、レーズンなどのお好みの物を入れて混ぜ、ひと固まりにする。
- 3 生地を丸く伸ばし8等分にカット。
- 4 予熱したオーブンで180℃20分(電気オープン)で焼きます。

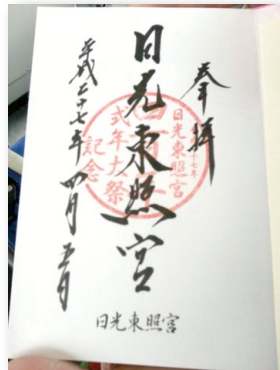
※アレンジ

くるみ、チョコチップ等を入れてもOKです。

料理提供者：佐野厚生総合病院 三井順子

わたしの on-off

御朱印ガール



日光東照宮400年記念大祭を機に始めました。美しい文字に心が清められる気がします。

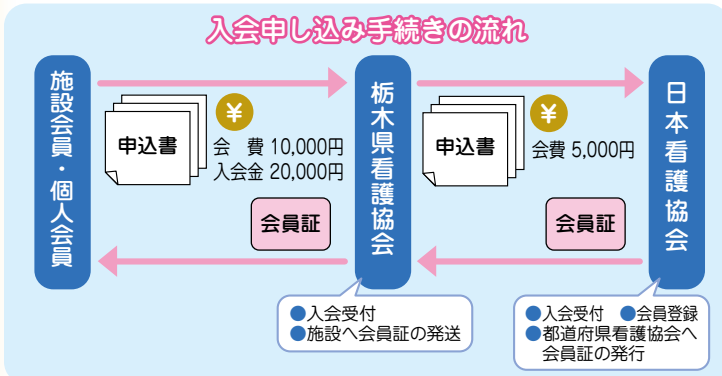
写真提供：岡本台病院 御朱印ガール

「入会手续」のご案内

平成28年度の入会手続き受付中です



入会申し込み手続きの流れ



- ※県看護協会に入会申込書が届いてから、会員証発行までに1ヶ月~2ヶ月ほどかかります。
- ※平成28年度会員証の送付は、3月以降となります。
- ※送金後すぐに入会申込書を送付してください。

第30回栃木県看護大会 第26回「看護の日」記念行事 開催予定のお知らせ

期日

平成28年5月14日(土)

時間

午前10:00から

場所

栃木県総合文化センター
メインホール 他

編集後記

2016年が明けました。会員の皆様には日頃より看護協会へのご理解とご協力ありがとうございます。今年も会員の皆様に満足していただける情報を発信してまいりますのでご期待下さい。本年もよろしくお願いたします。(佐藤)